

大井区民及び大井区内に居住されている皆さんへ

大井区区長 芳賀裕

平素より、大井区の運営に多大なるご協力をいただき感謝します。

さて、市主催の説明会や報道等で「小向ダム」の渇水状態は依然として継続しており、4,000世帯に影響が予想されております。

大井区でも朝夷水道の利用世帯がありますが、断水地域に現段階でなっていませんが、旧丸小学校以南の世帯での「長期断水」の可能性が出ています。すでに、学校等の公共機関へは朝夷水道から他水源からのタンク給水に切りかわっており、小向ダムからの取水量を減らして「断水」回避又は、「断水期間」の縮小を市及び関係者が一丸となって進めています。

大井地区からは、12月13日から丸山川の水をポンプで日量500トン～700トンを小向ダムに送水しています。節水効果と他の水源からの送水・注水で当初の断水開始日が12月23日から1月6日に、そして2月5日に見通しがたってきました。(市のホームページ情報参照願います)

これは、節水による減少分と送水・注水により増加分のバランスで断水を回避できるか？というものです。現状から全利用世帯でお風呂を2日に1回、その水をトイレに利用するなどの工夫で更に断水開始日を延ばせると思います。

これは、大井水道利用者にも共通の事態になりつつあります。最近の降雨量やこれからの予想から大井水道での節水も同時に進める必要があります。

今回、市からより一層の節水とそれに伴う新型コロナ対策として小向ダム周辺の全世帯に「500ml水 24本」「消毒用ジェル 2本」を配布する事になりました。これは、周辺地域が一体となって、この危機を乗り切る事を目指しています。みなさんのご理解・ご協力をお願いします。

